



肥料の一粒一粒に 熱い想いを込める

朝日アグリア(株)千葉工場
向後 龍哉さん(23歳)

朝日アグリア株式会社は、昭和10年創業の肥料・種苗・牧草事業を併せ持った有機肥料メーカーです。「堆肥を極める」をスローガンに、地域から出る堆肥などを活用し、卓越した技術で高品質な有機肥料を農家に提供することで、資源循環型農業の実現を目指す企業です。

——どんな仕事をしていますか

大型の機械で、粉状の堆肥に尿素などを加えて、粒状の有機肥料に加工する仕事をしています。状態の異なる原料を加工して、均等な粒状の製品にするには、その日の気温や湿度、堆肥の状態などを見極める、菓子職人のような繊細な感覚と、機械の正確な操作技術が必要です。

品質の高い製品を効率的に製造するため、業務を開始す

朝日アグリア株式会社
千葉工場

所在地／旭市さくら台1-13
電話番号／68-1600

る前にはしっかりと準備をするように心がけています。地元出身の人も多く、先輩とも気軽に話し合えるので、仕事で困ったことがあった場合も相談しやすい職場です。

——仕事のやりがいや誇りに思うことは

原料の状態を確認して、イメージのとおり作業が進んだときや、田畑で農作業をしているところを通りがかり、自社の製品が利用されているのを見かけたときには、誇らしい気持ちになります。

——今後の抱負は

困ったときには先輩に聞きながら作業することもあるため、たくさんのことを学び、経験して、全ての作業を一人でこなせるようになりたいです。野菜や畜産物などが全国有数の生産地である旭市で、農業を通した循環型社会の一端を担っていきたいと思います。



製品の品質を確かめる



状態に合わせて機械を操作